

製品名: シスタチン 8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab09689

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	CST8
別名	CST8; CRES; Cystatin-8; Cystatin-related epididymal spermatogenic protein
遺伝子 ID	10047.0
SwissProt ID	O60676
免疫原	抗血清はヒト CST8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

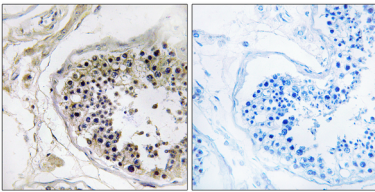
シスタチンスーパーファミリーには、複数のシスタチン様配列を含むタンパク質が含まれます。メンバーの中には活性なシステインプロテアーゼ阻害剤であるものもあれば、この阻害活性を失っているか、そもそも獲得していないものもあります。スーパーファミ

リーには、タイプ1シスタチン(ステフィン)、タイプ2シスタチン、キニノーゲンの3つの阻害ファミリーがあります。タイプ2シスタチンタンパク質は、さまざまなヒトの体液や分泌物に含まれるシステインプロテアーゼ阻害剤の一種です。20番染色体上のシスタチン遺伝子座には、タイプ2シスタチン遺伝子と擬似遺伝子の大部分が含まれます。この遺伝子はシスタチン遺伝子座に位置し、タイプ2シスタチンに類似したタンパク質をコードします。コードされているタンパク質は生殖管において非常に組織特異的な発現を示し、生殖における暗黙の役割を示唆しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2013年8月]機能: 精子の発達と成熟において特殊な役割を果たす。類似性: シスタチンファミリーに属する。組織特異性: 精巣上体の近位頭領域。精巣では発現が低い。精巣内では伸長中の精子細胞に局在するのに対し、精巣上体では近位頭上皮でのみ合成される。、

研究分野

-

画像データ



CST8抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。